



# 教育施設再整備事業

2019年11月26日

高野町 公共施設再整備室 松谷 剛



# 事業計画地の現在図



# 事業概要

事業計画地に開放型の小中学校を中心とした教育施設を整備する

- ・ 事業手法：DBで検討

- ・ 建設予定の施設

- ・ 小中一貫校校舎 各クラス15名×9クラス

- ・ 屋内運動場 バレーコート2面（避難所機能）

- ・ 室内プール 小プール・25m×4コース（住民開放型）

- ・ 給食センター 300食対応

- ・ 学童保育所

- ・ 中央公民館 約200㎡の研修室

- ・ こども園 定員80名（0歳から6歳まで）

- ・ 子育て支援センター 定員10名

※できる限り複合化する

- ・ その他

- ・ 図書室を小・中・公民館を併用させ、充実させる

- ・ 今後、計画地周辺も整備し、文教エリア・スポーツの拠点としたい

- ・ 余剰地が発生した場合、民間提案も検討する

## 本事業に対する意見

地域住民の要望	議会意見	庁内の考え
計画地区を子供だけでなく地域住民も利用し、子供達と大人が交流できる場所にしてほしい。	人口減少を考えると教育施設の再整備が必要なのか。整備するにしても大規模な施設はいらない。	計画地区を文教エリアとして整備し、施設複合化の特性・相乗効果を生み出し、町民、来町者も利用できる施設としたい
子供の遊び場・公園などを充実させてほしい。		子育て、教育、スポーツに関わる人材に集まってもらい、意見交換等をの活性化を行い教育等を充実させたい
図書室の機能を充実させ、生涯学習に力をいれてほしい	施設を充実させてるだけでは住民は利用しない。運営を考えるべきである。	地域住民が子育てに協力できる場を整え、「生きがい」をつくり、健康長寿につなげたい。
放課後の教室、体育館やプールは住民開放してほしい		子供たちに遊びや学び、地域住民等とのコミュニケーションを通じ、郷土愛を育みたい
町営の塾等を施設内に設置し、教育の充実をさせてほしい。	避難所として機能を充実させるべきだ	避難所としての機能を充実させることで安心・安全な町を推進したい
土日、祝日に子供が利用できる施設としてほしい	子供が少なくなった場合の施設利用を考えておくべきだ。	

# 比較3案

## 比較案作成方針

- ・幅広い利用ができるグラウンド（150mトラック・100m直線）を2面確保する
- ・施設は複合化し、相乗効果をもたらす配置とすること
- ・無駄をなくし床面積を減らし、建設コスト及び管理コストを抑える
- ・工事工程を簡素化し、建設コストを抑える
- ・居室用途の将来変更に対応（時代に応じた利用ができること）
- ・仮校舎の建設はしない（ただし、給食センターについては、仮設を可とする）
- ・こども園・小学校・中学校の明快なゾーニングをし、教室等の採光を考慮する
- ・小中学校の職員室とグラウンドの関係を考慮する
- ・特別教室等は、児童・生徒が利用しない時間等に地域開放を想定
- ・プールは住民開放を視野に入れた室内型プールと想定
- ・歩者分離を計画し、職員及び利用者を想定した駐車場を配置する
- ・工事期間は2年とし、自然環境、近隣住環境への影響に配慮

# 現在の教育施設運営状況

施設名等	運営状況	運営主体
公民館（図書室）	開館日 月～金（土・日・祝は休館日） 開館時間 8時30分～21時00分まで ※17時15分以降は職員常勤なし ※21時に施錠のみ地域住民に依頼	教育委員会職員 臨時職員（図書室）
町営グラウンド	使用時間 9時00分～21時00分まで 年間10日前後しか使用していない 平日8時30分～17時15分までに事前申し込み	教育委員会職員
学校校舎	住民開放を行っていない	
学校体育館	週に1度程度、住民開放 学校先生に施錠を依頼	学校先生
学校プール	住民開放を行っていない	学校先生・PTA
学童保育		臨時職員等
子育て支援センター		福祉保健課職員・臨時職員等
給食センター	指定管理 約250食	事業者
こども園	指定管理 園児約70名	事業者

# 新施設への運営要望

住民からの要望（ワークショップ・学校等保護者説明会より）

- ・子育て世代は、観光事業者が多いため、土・日・祝も子供が安全に利用できる施設運営をしてほしい
- ・図書館や放課後等の住民開放を行うのであれば、午後10時頃まで利用できるようにしてほしい
- ・プールを年間を通して利用できるようにしてほしい
- ・来町者が利用させるのであれば、学校施設のセキュリティ対策は万全にしてほしい
- ・子供からお年寄りまでが楽しんで施設利用できる運営をしてほしい
- ・放課後や休みに施設を民間に貸し出しをしてほしい（塾や各種教室など）

要望のとおり、町が直営で運営管理することは、現在の状況では負担が多すぎる

- ・管理運営のノウハウがなく、人材を確保することも困難
- ・利用者があるかどうかもわからない

**現在検討**

要望は断念してもらい現在の運営

要望をできる限り実現できるように体制を整え、直営

運営を事業者に委託することを踏まえた施設整備（余剰地の利用提案を含む）